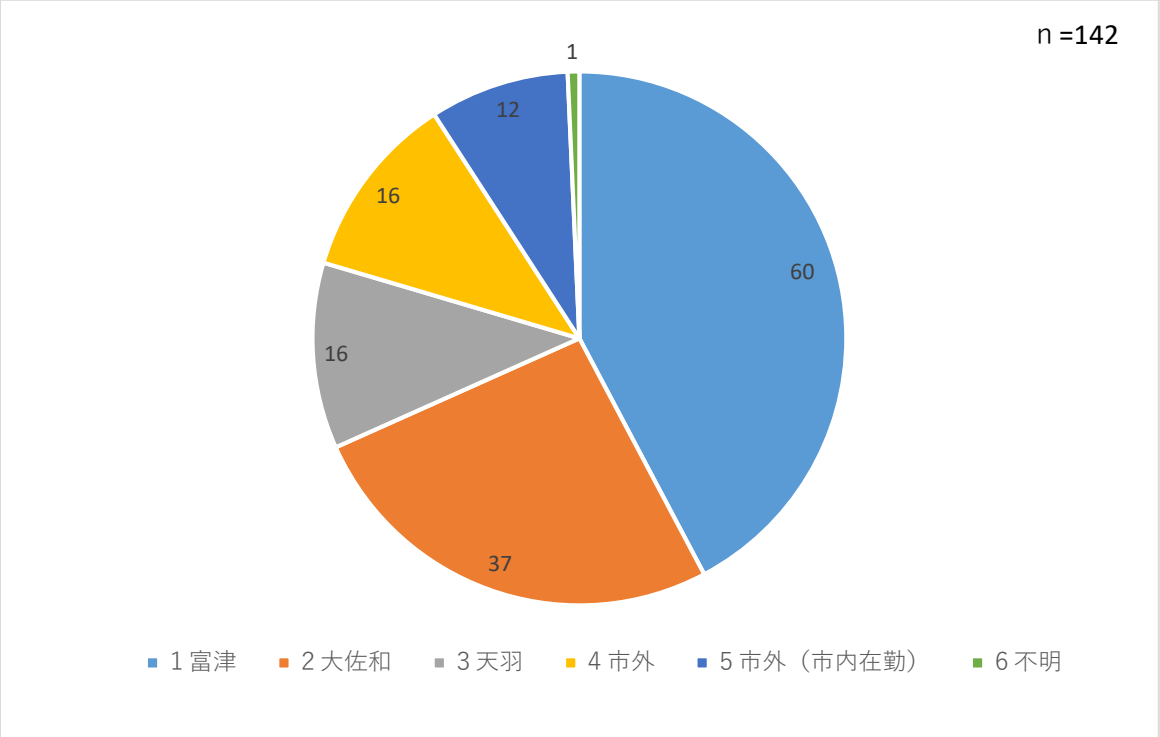
在宅医療と地域の支えあいのための講演会
「いつまでも住み慣れた地域で生活するために」
アンケート集計結果

記

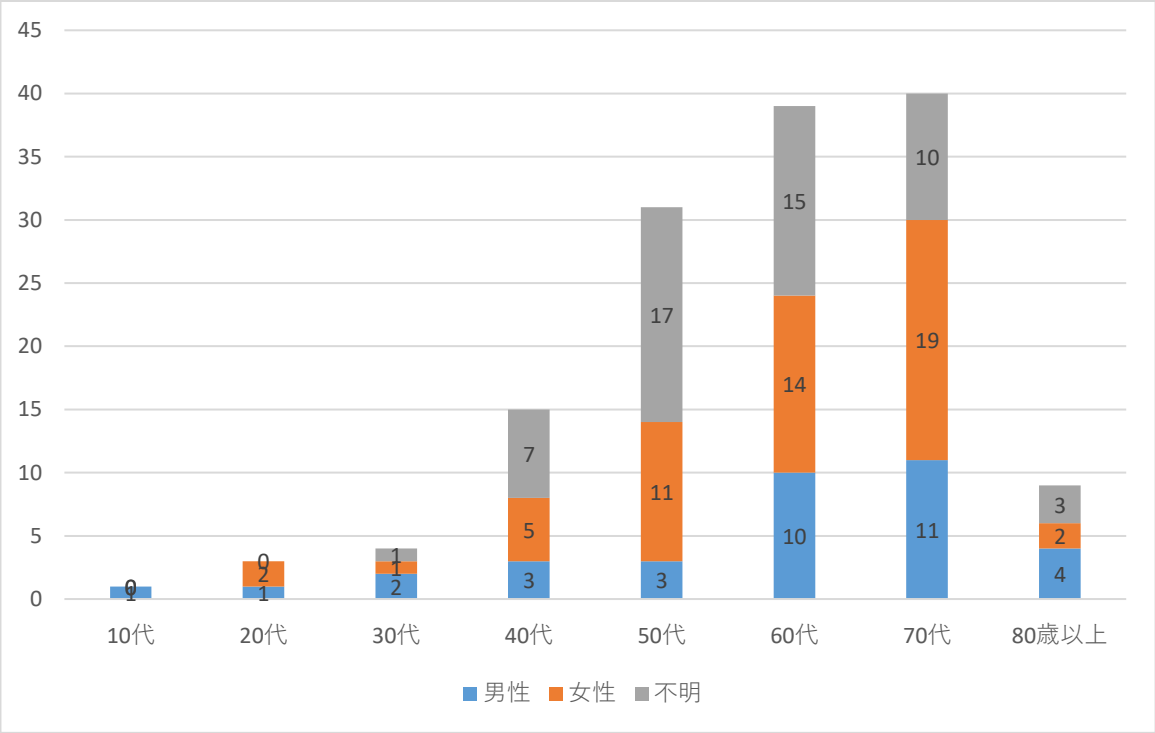
1 日時	令和2年2月9日　14時～16時30分
2 場所	富津公民館大ホール
3 聴講者数	205人
4 アンケートご回答いただいた方	142人
5 回答率	69.3%
6 アンケート原本	19、20頁のとおり

富津市介護福祉課
富津市在宅医療・介護連携推進会議

1. どちらにお住まいですか？

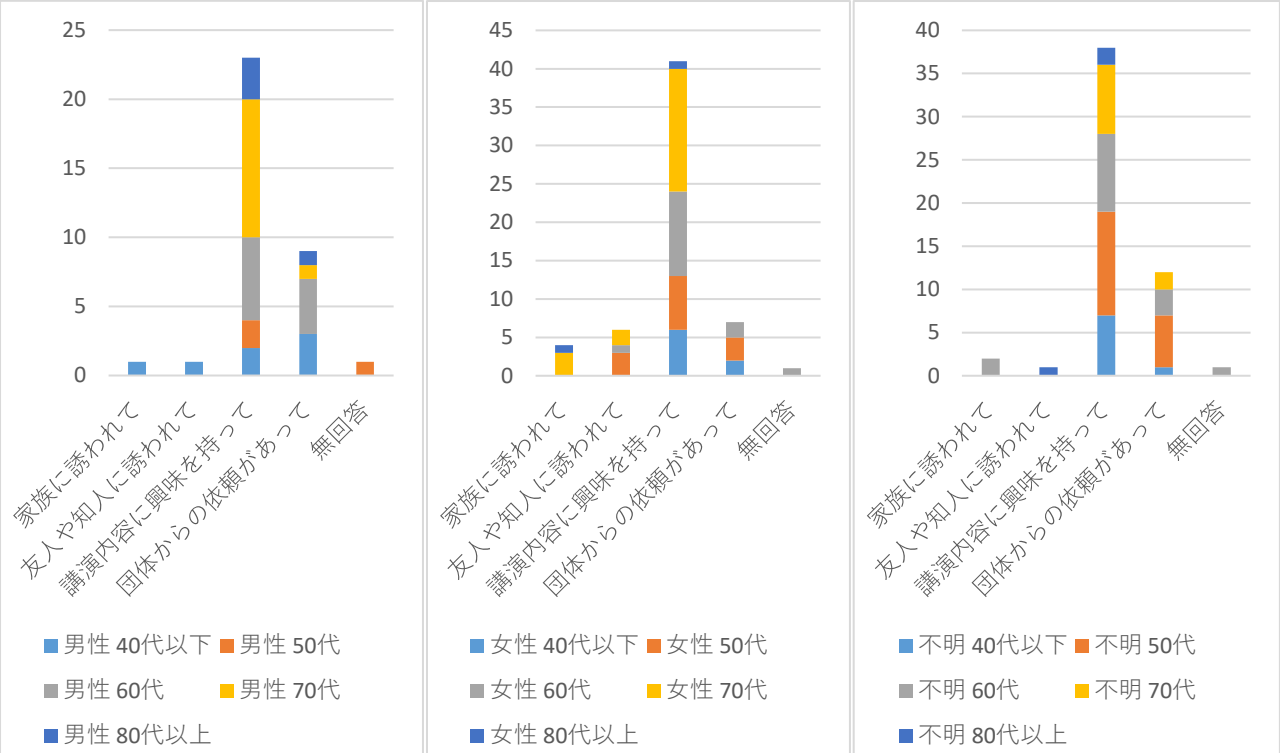


2. 性別と年齢を教えてください。



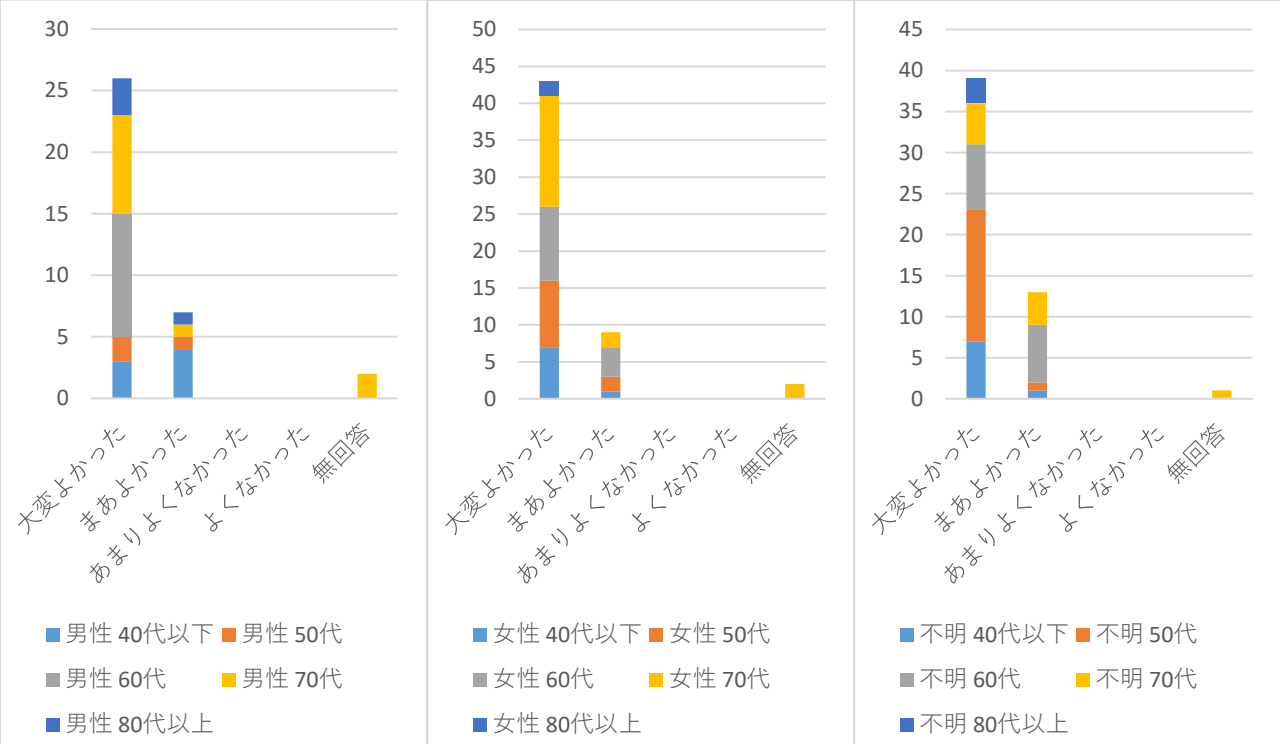
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	n
男性	1	1	2	3	3	10	11	4	35
女性	0	2	1	5	11	14	19	2	54
不明	0	0	1	7	17	15	10	3	53
回答	1	3	4	15	31	39	40	9	142
割合	0.7%	2.1%	2.8%	10.6%	21.8%	27.5%	28.2%	6.3%	100.0%

3. 講演会に参加した理由（きっかけ）を教えてください。※重複の回答有



	家族に誘われて	友人や知人に誘われて	講演内容に興味を持って	団体からの依頼があって	無回答	n
回答	7	8	102	28	3	148
割合	4.7%	5.4%	68.9%	18.9%	2.0%	100.0%

4. 三枝先生の講演「在宅医療における看取りについて」はいかがでしたか？



	大変よかった	まあよかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	n
回答	108	29	0	0	5	142
割合	76.1%	20.4%	0.0%	0.0%	3.5%	100.0%

4の理由

■本人の意思を聞いておくことが大事

■自分なりに死に対しての考えがまとまった

■死に対しての考え方

■言葉の説明や図解が適切だった

■解りやすかった

■自分と周りの人の”死”を考えるきっかけになった

■聞きやすい

■死について認識を新たにした

■内容がとても分かりやすかった

■見送る人と見送られる人の心構えについて理解した

■スライドを使ってわかりやすかった。内容も興味のあるものだった

■看取りについて数多く家族と話し合うことが大切。心がけようと思った

■生や死について分かりやすかったと思います

■今まで考えていたこと、不安なことが少し解消しました

■今後に役立つ話で良かった。「感謝をして死んでいく」

■分かりやすく話されていました。理解できたように思います

■ターミナルの心がまえを学べた

■独居であり将来を考え直したい

■在宅で看取りをすることの覚ご（心構え）が必要であることがわかりました。かかりつけ医が往診してくれる事が在宅看取りができる要件だと思います

■分かりやすくポイントを伝えてくださいました

■具体的な話をまじえて話を聞けました

■感謝すること

■非常に重い話題をわかりやすくお話してくれた点

■医師の言葉であり重みがあった

■医学的な死（終えん）ではなく善い死を迎えるためのよい生を見直すきっかけになった

■生、死についての考え方、整理ができた

■ACP　在宅で看取るということがわかりやすかったです

■これから死にむかう私はとても参考になりました

■看取りの心構えの認識ができた

■抽象論ではなく具体的に看取りの内容を示していただいたからわかりやすかった

■感謝の気持ちは大切

■「死」について考える良いきっかけになった

■生についての考え方を今一度確認

■知らない事もあり勉強になりました。これから感謝を忘れずに

■死についてあまり考えていなかった

■改めて残り少ない人生を考えてみる機会をいただいた

■どう行動したらよいかわからない点がいくつもあった

■医師という立場から在宅医療の中での経験を踏まえてやさしく講義されたので

■患者本人の意思を尊重し本人を含めての家族での話し合いをしたいと思った

■総合的なのでよかった。単発の知識では正しい対応ができない

■とても解りやすく勉強になりました

■自分の死、家族の死に対して真剣に向き合っていくべきだと知った

■心構え等確認することができた

■具体的にわかりやすかった

■現在、夫が癌の末期を生きているときですが、本人とは具体的な話が出来ないでおります。が、まずは送る側の自分が「死」を受けとめることができました。

■自分が人を看取るとき、どうすればいいか、どのようなことが起こるのかがわかった

■今まで地域ではなかった講演で、誰もが学習が必要だから

■在宅の看取りについて具体的な心がまえがわかりました

■今後どのような気持ちで過ごすことが幸せか考えさせられた

■介護する側、受ける側の立場、心情を踏まえ、看取りを自分ごととして考えるきっかけとなった

■わかりやすくお話上手に感じました。機会があればまた聞きたいです

■わかりやすい言葉

■看取られる側、看取る側の心がまえを教えて頂けた。分かりやすい聞きやすい講演でした

■感謝の気持ちがより深く感銘を受けた

■死生観、感謝の気持ち等、三枝先生の哲学を肌で感じられました

■自宅での看取りとはどういう状況で行われるのかもう少し具体的な部分の話があった方が良かったのでは

■不満を感謝にかえることを考えさせられました

■三枝先生の落ち着いた口調に「在宅の看取り」についてじっくり考えることができました。神父さんみたい

■自分自身の生き方を考え直すヒントがあるような気がする

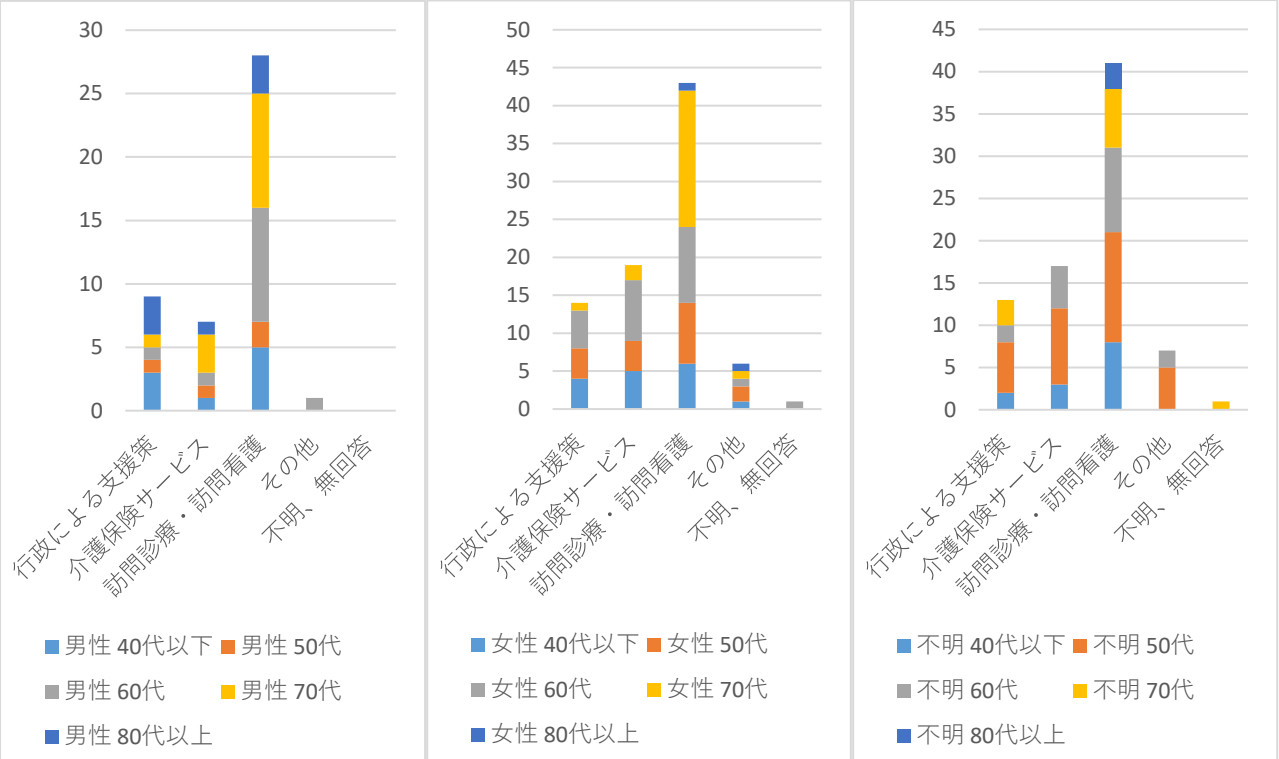
■わかりやすかった

■在宅医療の必要性もわかった。延命治療について考えさせられた

■具体的でよくわかりました。より多くの人が知ることによって三方よしとなって皆が救われると思いました

■誰を対象に話をしたいのかがわからなかった

5. 三枝先生の講演を聴講された方にお聞きします。現在、あるいは将来において、ご自宅で生活していく上でどのようなことが重要になってくるとお考えですか？※重複の回答有



	行政による支援策	介護保険サービス	訪問診療・訪問看護	その他	不明、無回答	n
回答	36	43	112	12	4	207
割合	17.4%	20.8%	54.1%	5.8%	1.9%	100.0%

5の理由

■日常の生活を支えるしくみ(買い物、外出、孤食とならない食事)

■わからないから不安

■家族がいるので生活上の問題は家族がサポートしてくれるので、専門家の正しいアドバイスが必要

■在宅医師や訪問看護スタッフを増やしてほしい。在宅での金銭面の行政支援

■家族との絆が大切、かかりつけ医師が大切

■各種の機関の連携が必要と思います。１チームみたいなフォローがあったら・・・。

■最後は病院かな

■家族の支え

■私自身在宅診療を将来は希望しており、先生の様な方なら安心をえられそうです

■地域包括システムの構築の重要性が高いため

■在宅/最後の最後は病院でと考えると、訪問医療が利用しやすくなると・・・

■（その他）家族支援

■すべての機関や人が連携していく事が大事

■多職種の連携の重要さ

■小さな事でも見落とさないために

■パワーポイントの映像がわかりやすく大変参考になりました

■看取りの段階、ステップでの対応、有り方

■いくら在宅医療といっても、時にかかりつけ医以外の医療機関にかかりたい場合、移動手段の支援（行政）。往診してくれる医師の確保、専門外のこともわかる知識。

■訪問医療、在宅医療の先生がたくさんいらっしゃると良いかと

■病院が今後の課題と考えられるから

■健康を意識して生活していく。食生活、運動など

■感謝する心

■三位一体の連携が必要。もちろん本人の生き方をしっかりして

■自宅で倒れた時、アイフォンで消防は押せてもドアを開けるのは誰か、こわして入るのか

■病院中心のシステムから再構築が必要

■自分がどう準備していくか

■医療と介護の連携で在宅医療を進める（行政）
グリーフケアの必要性（その他）

■健康で最後をむかえることは難しいと思うため

■頼るのは医療機関だから

■本日のようなお話を伺ったりすることで、介護をする側、される側両者が様々な知識を持つこと

■自宅で見てほしいから

■車の使用が無理になった時にどんな対応があるか不安

■地域における在宅の医療構築

■在宅で看取るには医療との連携プレーだと常に感じた

■すべての連携

■家族に全く負担がかからない事はないと思う。経済的な援助（仕事を休まなければならない家族が居たらなおさら）少量でもあれば助かると思う

■リビングウィルについて

■自分自身で意識して生活して行く事（様々な要素を）

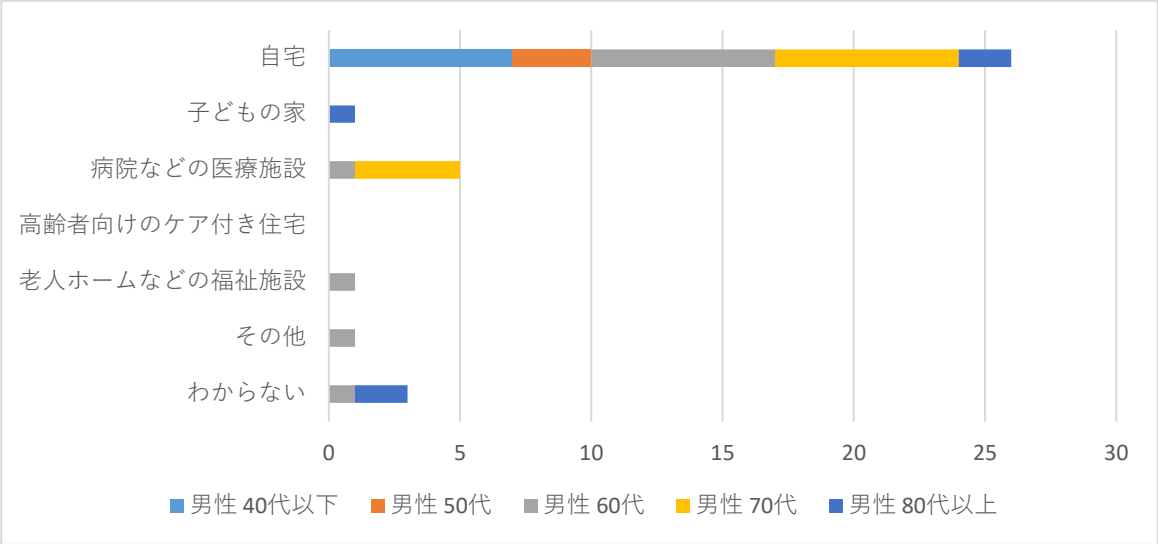
■在宅で家族・本人に不安のない看取りの方法

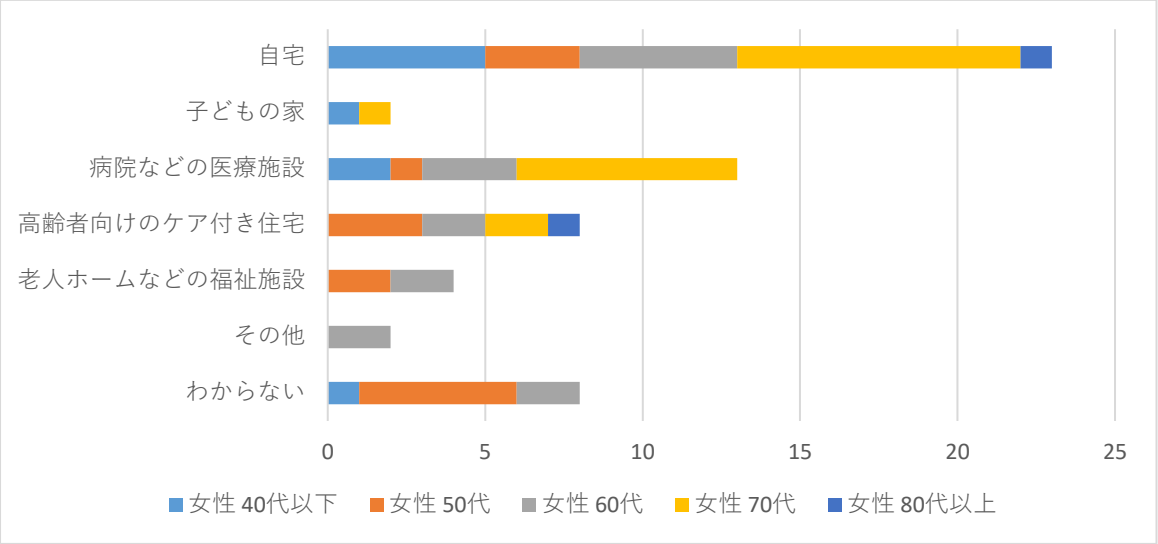
■現在70代で96歳の親を病院や他へ連れて行って不便を感じている。家での用（三食の食事準備他）もありきつい。

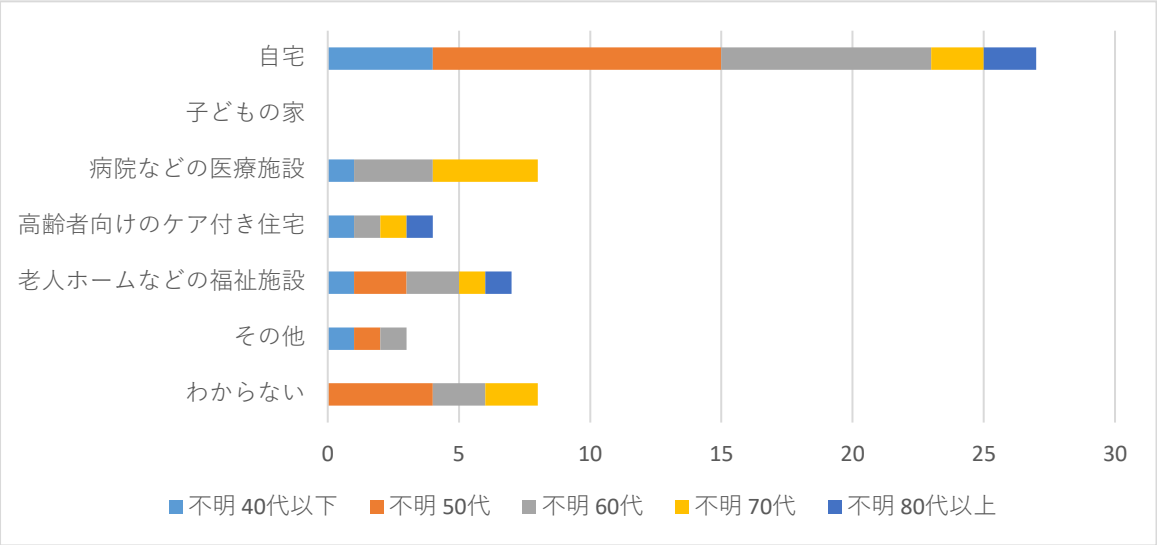
■在宅でみている家族の支援が必要。自治会・消防団の利用

■すべての方々が連携をし支援をしていく必要がある

6. あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？※重複の回答有





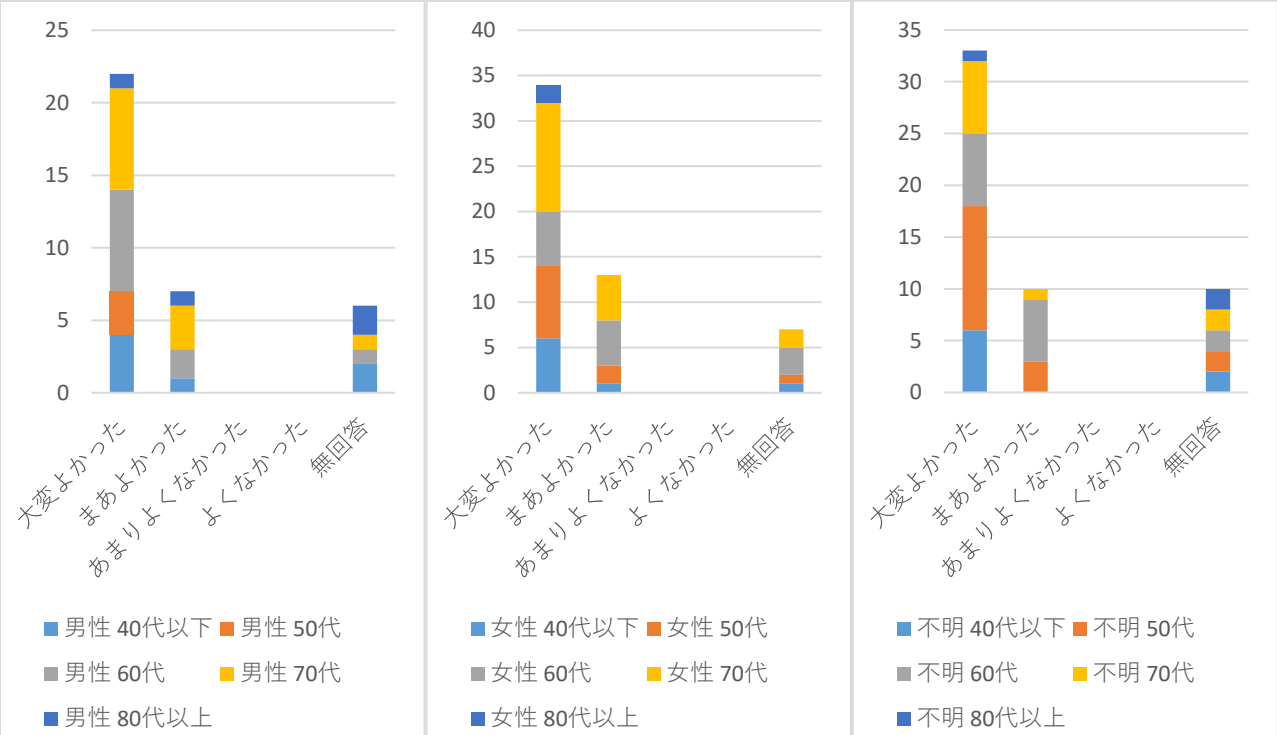


	自宅	子どもの家	病院などの医療施	高齢者向けのケア付き住宅	老人ホームなどの福祉施設	その他	わからない	n
回答	76	3	26	12	12	5	19	153
割合	49.7%	2.0%	17.0%	7.8%	7.8%	3.3%	12.4%	100.0%

その他の意見

■自宅から最後は病院
■在宅療養と病院（最後）
■できれば自宅だが負担が大きければ他でも
■そのときの状態によって異なってくると思う

7. 川越教授の講演「地域の支えあいの体制づくりの必要性について」はいかがでしたか？



	大変よかった	まあよかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	n
回答	89	30	0	0	23	142
割合	62.7%	21.1%	0.0%	0.0%	16.2%	100.0%

7の理由

■具体的な資料データを見る事ができた。説明もあった

■高齢者を外に出すのは大変むつかしい(むずかしい)です

■これからは地域の支え合い社会の連携をもって向かって行くことが大切である

■現実的な数値に対して不安を感じると共に、今後よりよい方向にどう変化させていくかだと思いました

■必要性が大変よくわかりました

■他県の事例が多く富津市の話がほしかった

■富津市の今後のあり方を考えさせられました。自分に何が出来るか？

■これからの地域に対する考え方、意しきを学ぶことができた

■地域の実体がわからず問題点を絞れない？例　災害時要救助対象者、要援護者他　いろいろな対象での情報交換が必要ではないか？

■地域の民間業者をいかに困っている住民につなげるか誰が先導していくかが必要

■事例がわかりやすかった

■川越教授の各地域の事例はとても参考になりました。地域包括ケアの大切さを痛感した。故に地域住民の困り事の連携WGの必要性は必須であると思う

■富津市の実態を知った

■全国の事例を出しての講演は支えあう大切さを大変強く思いました

■関係者への取組み、手法等理解した

■全国・富津の資源、現状がよくわかり、他の取りくみもわかりやすかったです

■富津市の将来についてびっくりしました。君津市、木更津市は、都会に行く電車等の重複(複線)が良いと思います。富津市も川をこえて単線でなく重複(複線)になればと思います

■何かしていかなければ大変なことと思います。富津市は今どうなっているの？

■できるところから何か始めようという思いが大事だと思った

■先行市の事例をわかりやすく知ることができた

■介護を必要とする人が増えるということが現実的にということがわかった

■その地域の特性と自主性が相まってその施策の樹立ができる

■個別の対応から地域全体での対応へ

■具体例（カラオケ、フロとか）が本市のレベルにあわない部分もあるのかな

■富津市の現状、高齢者が増えて行く中で若い人の人口が減っていく中で市が何を目指していくか

■むすび合いがまだまだつながっていないと思う

■結局、具体的な検討は行政だと思います

■地域資源の活用の仕方のヒントが沢山あったから

■地域資源、社会資源の活用事例が参考になった。元気高齢者を支援する施策として参考になるも、要介護者の支援策を構築するには地域住民の意識を変えていく必要がある

■方法も少しわかりました

■地域包括ケアのしくみがよくわかった

■地域共生社会づくりを進めて行くにしても、それに関わる費用は市に出してもらいたいと思った。（団体が動くには会場費も必要）

■包括的な考え方がわかった

■川越先生が明快・明瞭でとても分かりやすかったです

■富津市の現状を知る上でよく認識できた

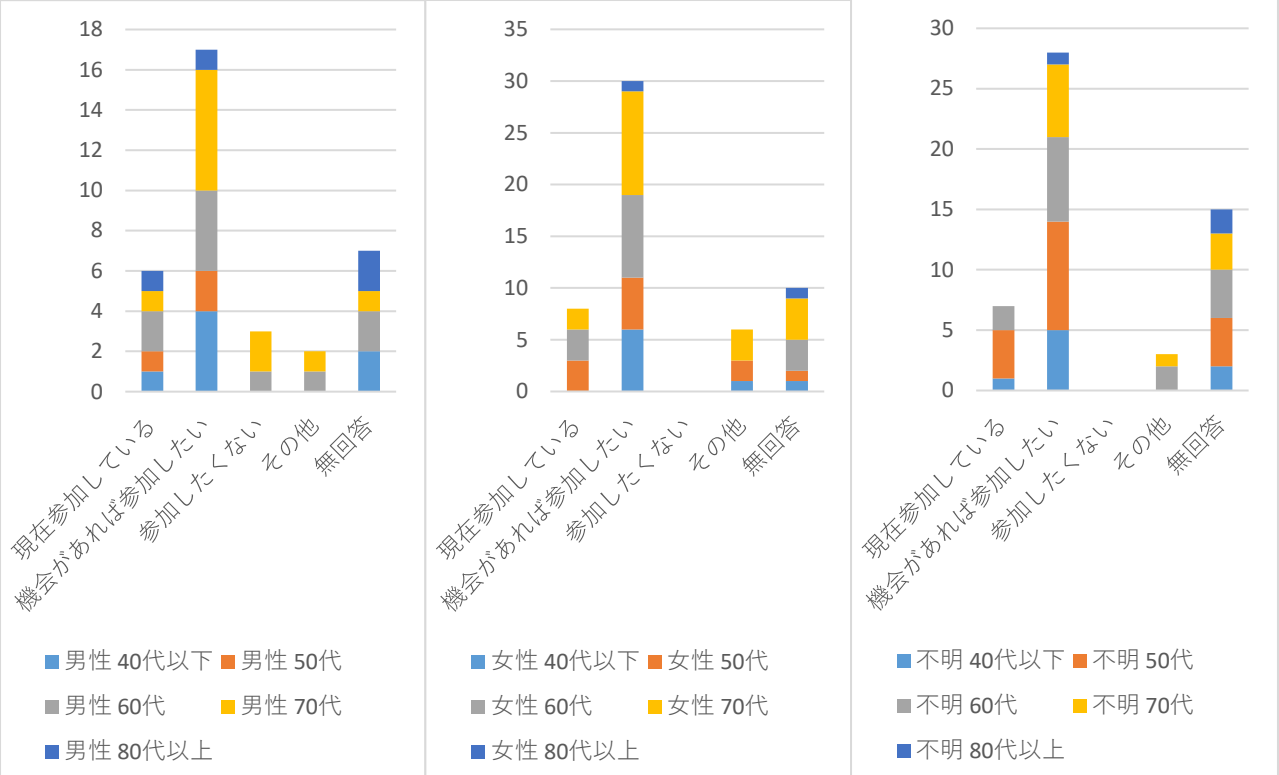
■課題がはっきりした

■補い合い、助け合える、人と人がつながる良い未来が見えてきました

■自分の考えと一緒

■富津市の現状が良くわかりました

8. 川越教授の講演を聴講された方にお聞きします。
地域住民による支え合い活動について、どう思いましたか？



	現在参加している	機会があれば参加したい	参加したくない	その他	無回答	n
回答	21	75	3	11	32	142
割合	14.8%	52.8%	2.1%	7.7%	22.5%	100.0%

8の理由

■動きが見えれば、参加する人も増えるのでは？

■いろいろお話ができること

■ヒントをもらいました

■自分で対応できるか不安

■退職後は参加を考えたい

■強制されるものではなく自分なりの支え方が出来れば参加したいと思う

■年齢に制限がなければ

■自分自身に何が出来るかで考えたい

■絶対的に人口の少ない中で最期の場所を望む形で行えるか？！難しいのが実際です。三枝先生がおっしゃっていたように感謝の気持ちをもって生活していきたいと思います。そうすることで難しいことも可能になってくるかもしれないですね

■社会資源の創出の難しさを実感している

■参加したことがあるが実現するまで至っていない。地域住民の意識をどのように高めていくか

■問題意識をもって実情を知りたい

■お互い様，声かけ、いたわりあい

■講演会の目的は何だったでしょうか？と思いつつ、内容はとてもおもしろかったです。ありがとうございました。会場のことで一点、質疑応答の場面、先生方の前に机があった方がよかったと思います

■違う立場で推進していきたい

■地域でのかかわり合いが必要だと強く思う

■市民全体が活動しやすくなれば若い方の富津での定着率も上がるのではないかと思ったので

■色々参加しているので暇がない

■参加したいがまだ仕事をしているので無理

■自宅介護をしているため

■児童見守り、清掃作業、健康体操に参加

■自分の年齢では遅すぎると思うし、あと10年若かったらと思う

■中区に住んでいるが、自治会が良くわからない

9. 講演を聴講した感想をお書きください。

■2人が意見を交わす場面を見たかった

■鍼灸マッサージなど、できることがあれば力になりたい（角田鍼灸接骨院）

■感謝することの大切さ。日常、不満も多くぐちばかり言ってしまうことがある。日頃から気をつけていこうと思う

■中座します。ご拝聴させて頂き、今後の研鑽致します。

■身近なお話を聞きたい

■わかりやすくてよかった。スライドを使われてよくわかった

■元気な高齢者に介護分野などで働いてもらうこと。これはいろいろ良い面があるので本市でも推進したらどうかと思った

■看取る側、看取られる側が考えなければならない事等の気づき。他県、他市の取り組みが今後の地域の参考となりました。人口減少の現実

■とても勉強になりました。富津市でも今後どの様に行ったら良いか考える事が必要ではないかと痛感しました

■自分にとって幸せとは何か、今一度考えるきっかけになりました。死についてもしっかり向き合いどう過ごして行くかを考えて行きたいと思う。きっかけになりました。

■期待以上のことが聞けました

■介護助手の話が大変参考になりました。１時間でも２時間でもよいということは働かせて頂く側としては有難いことです

■なぜ地域包括ケアシステムが必要なのかということがなんとなくわかっていましたが、今回のお話で大変わかりやすく頭の整理ができました

■どちらの講師の方もお話が大変わかりやすかったです

■今後必要になる地域支援に対する様々なヒントがありました

■良かった

■高齢の母に「今」「これから」を少し知ってもらえました

■大変参考になりました。ありがとうございました

■今日は出席して本当に良かったです。ありがとうございました

■この様な講演会は初参加でしたが、講師の説明もわかりやすく理解でき大変参考になりました。（機をとらえたテーマであった）

■自分勝手に死に対して考え悩んでいました。先生のお話を聞き楽になりました。（日野原先生のような先生が身近にいらっしゃることに安心しました）
人口減少にともなう問題が具体的によくわかりました。地域の支え合いの大切さを感じながら行動等できない自分でしたがこれをきっかけにできることから協力していこうと思います。普通に暮らしができることが幸せであるということを学びました。ありがとうございました。やれることはやります。そういう社会であることを認識しました

■大変参考になりました

■とてもよかったが少し早いようにおもえた

■迷いがあったが大変参考になった

■今まで日本がしてきたことは、医療・福祉も含めて戦後から高度なことを目指してきたと思います。また経済発展など様々なことも含めて。ですが、今日の話は、日本が昔やっていたことにもどるのではないかと思います。私は、今便利すぎ、自由すぎ、手厚すぎた結果であると思います。戦後何もなくても子どもが沢山いてそれなりの幸せがあったと思います。最近いわれているコンビニやレストランの24時間営業なんて必要ないと思います。少し不便くらいの方がいいと思います。ここのところ多い災害もそれが理由ではないでしょうか

■おふた方の講演を聞き、現状が家に居たままだと何もわからず新しく認識致しました

■大変勉強になりました

■来て良かったと思いました

■わかりやすい話であった

■久しぶりに学校に行っていた時のようだった。新鮮だった。

■川越先生の資料の字が小さすぎて読みにくかった

■自分ができることをひとつの歯車として地域のために何かお手伝いしたいと思った

■もう少し早く講演をやった方が良かった気がします

■手元資料が小さくて見えなかった

■富津市として企画してくださったことに感謝いたします。願わくは市民の先頭に立って、市民の進むべき道をおしすすめていただければ助かります

■地域包括システムの中心にいるのはケアマネジャーだと再認識しました。増大している仕事の中で地域の課題を提案できればと思います。

■非常に良かったです

■大変よかった

■富津市の現状が良くわかり、特に人口減少、高齢化は深刻な問題と捉えます。市が率先し市民を巻き込んでの地域包括システムを進めてもらえたらと思います。今後もこのような講演を市民向けに続けていただけたらと考えます。

■両先生とも大変役立つ話でした。特に包括ケアシステムの構築は難しいと思いますが色々改善するのではと思いました

■今後もっと地域、自宅で幸せに家族が看取ってくれられるサービスがあること。学習できる場を作ってほしい。バック音楽がすてきでした

■自分がまだ元気でいられるので子供の負担になりたくないと思うが、元気でなくなった時にまた考えが変わると思う

■地域の中で区長等への市からの働きかけをお願いしたい

■高齢となっても自宅での生活をつづけてゆくには、医療と自宅をつなぐ中間的な役割を担う者が重要と感じます

■近い将来に職場の退職を考えていますので自分自身の認知症予防にも身体を動かす事に力を入れて生活したいと思う事と同時に何かのお役に立つ事も良いかなと思いました（現在、73歳、看護職）

■これから確実にやってくる身近な問題であり、真剣に考えていかなければいけない。そのためには住民を含めた連携が非常に大事であると考えた

■講演ありがとうございました。アイデアをもって対応していく各県のとりくみが参考になりました

■大変勉強になりました

■またやってほしい。市民教育として有益

■質疑応答での川越先生のコメントが良かった。地域住民の意識改革の重要性を強く感じた

■医療関係従事者だけではこれからの超高齢社会に対応できないということがよくわかった

■大変勉強になりました。ありがとうございました

■川越先生の講話をヒントに富津市では何ができるかを考えていかなければいけない

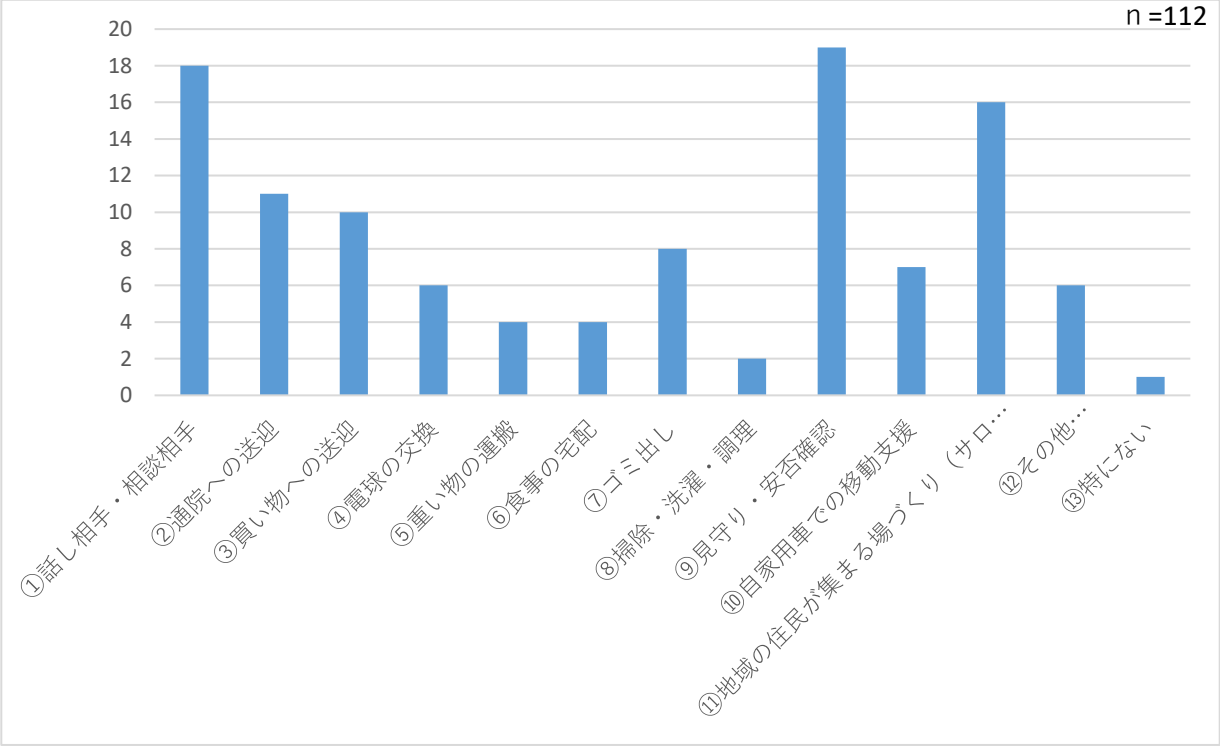
■よかったです

■老老介護生活であるので、今後の生き方について参考にして行きたい。毎日の生き方に感謝しながら生きている。妻が手足が不自由であるので毎日看護しながら日々生活している状態である

10. 市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい在宅生活を続けることができるようにするために、地域住民による支えあいの体制づくりに関する意見交換会・話し合いの場を開催しており、「私ならこういったことができる」という人材（担い手）を募集しています。
地域の中で具体的に活動に参加されている方は、団体名をお書きください。

氏名、住所及び電話番号という個人情報、並びに特定の団体名の記載となるため、割愛しました。

11. 以下の支援やサービスのうち，あなたが地域住民のために「支援を行ってもよい」と思うものはありますか（いくつでも）



その他の意見

- ⑫５Gの時代、医療相談カーの導入への提案
- ⑪全般的に上記の（設問１１全部のこと？）サービスを提供できる組織をつくりたいと考えています。
- ⑫婚活サークル等の人口増加のための地域活動
- ⑦となりであれば
- ⑫百歳体操を各地区でやってほしい。区長さん等にお願いしたい
- ⑫鍼マッサージなど時間が合えば何でも
- ⑫70歳後半になると、何か出来ることがあるかな？

在宅医療と地域の支え合いのための講演会
「いつまでも住み慣れた地域で生活するために」

アンケート

1.　どちらにお住まいですか？
市内（□富津　□大佐和　□天羽）　　□市外（□市内在勤）

2.　性別と年齢を教えてください。
男性　・　女性
１０代　・　２０代　・　３０代　・　４０代　・　５０代　・　６０代　・　７０代　・８０歳以上

3.　講演会に参加した理由（きっかけ）を教えてください。
□家族に誘われて　　□友人や知人に誘われて　　□講演内容に興味をもって
□団体からの依頼があって

4.　三枝先生の講演「在宅医療における看取りについて」はいかがでしたか？
大変よかった　・　まあよかった　・　あまりよくなかった　・　よくなかった
理由（　　）

5.　三枝先生の講演を聴講された方にお聞きします。現在、あるいは将来において、ご自宅で生活していく上でどのようなことが重要になってくるとお考えですか？
□行政による支援策　　□介護保険サービス　　□訪問診療・訪問看護　　□その他
理由（　　）

6.　あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？
□自宅　　□子どもの家　　□病院などの医療施設　　□高齢者向けのケア付き住宅
□老人ホームなどの福祉施設　　□その他（　　）　　□わからない

7.　川越教授の講演「地域の支えあいの体制づくりの必要性について」はいかがでしたか？
大変よかった　・　まあよかった　・　あまりよくなかった　・　よくなかった
理由（　　）

8.　川越教授の講演を聴講された方にお聞きします。地域住民による支え合い活動について、どう思いましたか？
□現在参加している　　□機会があれば参加したい　　□参加したくない　　□その他
理由（　　）

9.　講演を聴講した感想をお書きください。

・・・・・・・・・・・・以下は記名式のため、任意記入になります・・・・・・・・・・・・

10. 市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい在宅生活を続けることができるようにするために、地域住民による支えあいの体制づくりに関する意見交換会・話し合いの場を開催しており、「私ならこういったことができる」という人材（担い手）を募集しています。
地域の中で具体的に活動に参加されている方は、団体名をお書きください。

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

団体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所　富津市＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

活動内容

11. 以下の支援やサービスのうち，あなたが地域住民のために「支援を行ってもよい」と思うものはありますか（いくつでも）

①話し相手・相談相手　②通院への送迎　③買い物への送迎

④電球の交換　⑤重い物の運搬　⑥食事の宅配

⑦ゴミ出し　⑧掃除・洗濯・調理　⑨見守り・安否確認

⑩自家用車での移動支援　⑪地域の住民が集まる場づくり（サロンなど）

⑫その他（　　）　⑬特にない

ご来場いただきありがとうございました　　**富津市**